

# 平成23年度 学校評価シート

学校名：和歌山県立和歌山工業高等学校

学校長名：西脇 英雅

目指す学校像 ・ 育てたい生徒像	<ul style="list-style-type: none"> <li>校訓である「質実剛健」のもと、健全な心身の発達に努め、自主自立の精神をもって工業技術を体得し、我が国産業発展の原動力となる生徒を育成する学校</li> <li>勤労を尊重する精神を養いながら自らの個性を伸ばし、わが国産業の発展に貢献できる心身ともにたくましい生徒</li> </ul>
------------------------	---

本年度の重点目標 (学校の課題に即し、精選した上で、具体的かつ明確に記入する)	1 第4棟大規模改修二期工事を計画的かつ円滑に進める。
	2 家庭謹慎、別室謹慎、授業出席謹慎を活用し、段階を踏んで生徒指導を行う。
	3 学力向上に向けて、授業の充実と基本的な学習習慣の定着を図る。
	4 地域産業界との連携を密にして、有為な人材を育成する。

達成度	A	十分に達成した (80%以上)
	B	概ね達成した (60%以上)
	C	あまり十分でない (40%以上)
	D	不十分である (40%未満)

学校評価の結果と改善方針の公表の方法
年度末に発行する学校だよりにより学校評価の結果を掲載するとともに、昨年度に引き続き、本校ホームページでも公表する予定である。

(注) 1 重点目標は3～4つ程度設定し、それらに対応した評価項目を設定する。 2 番号欄には、重点目標の番号を記入する。 3 評価項目に対応した具体的取組と評価指標を設定する。  
 4 年度評価は、年度末(3月)に実施した結果を記載する。 5 学校関係者評価は、自己評価の結果を踏まえて評価を行う。

自己評価					年度評価 (3月5日現在)		
重点目標					評価項目の達成状況		
番号	現状と課題	評価項目	具体的取組	評価指標	達成度	次年度への課題と改善方針	
重点目標 1	昨年度、屋外整備・第4棟大規模改修一期工事が完成したが、本年度は4棟大規模改修二期工事が予定されている。これらの工事を教職員はもとより地域住民の協力を得ながら進めていく必要がある。	職員会議で全教職員に各工事計画を提示し、教育活動に支障がでないよう配慮しながら、計画的かつ円滑に工事を進めることができるか。	職員の周知徹底	職員会議等で意見交換し、意思疎通を図る。	B	○夏の大変な暑さの時突然予告なく断水など厳しい時もあった。 ○事故もなく無事終了できた。 ○工事計画が事前に連絡が行われたので教育活動にも支障が少なかった。	
			新校舎の使用や工事について、生徒への指導	生徒に新校舎の使用や工事についての注意点を守らせる。			
			学習環境の保障	教育活動への影響を最小限にする。			
2	昨年度は別室謹慎を中心として、特別指導を実施した。延べ71名の生徒を指導したが、さらに本年度は問題行動に応じ、授業出席謹慎の有効性を検討しながら活用し、指導の充実を図りたい。	授業出席謹慎を生徒の家庭環境や問題行動の内容に応じて、どれだけ有効に活用することができるか。	授業出席謹慎の積極的な活用	別室謹慎を50%以上実施する。	B	○授業出席謹慎を取り入れたが生徒に対する指導が甘くなり、服装が乱れる生徒が増加したように思われる。遅刻防止週間の設定など、もう一度規定の改善を考えてほしい。 →授業態度や遅刻、服装等の基本的な生活習慣の確立に向けて全職員で取り組む。	
			関係諸機関や教育相談との連携	関係諸機関との連携を密にし問題行動に応じて、教育相談と連携する。			
			基本的生活習慣の確立	生徒の基本的生活習慣の確立に向けて全職員が協力して取り組む。			
3	依然として生徒の学習に対する取り組みの姿勢に消極的な部分が見受けられる。引き続き研究授業を実施する機会を設けて授業改善につながるようにする。	教員が研究授業等を積極的に起こさない、生徒の主体的な学習を促す授業改善がおこなわれているか。	授業規律の確立	管理職や各専門科で授業巡視を行う。	B	○教材研究や指導法の創意工夫は行っているが生徒の学習意欲向上には至っていない。 →生徒にやる気と目的意識を持たせるため、教員はこれからも日々努力し取り組んでいく。	
			研究授業や公開授業の積極的な実施	研究授業の研究協議が授業改善につながるよう工夫する。			
			生徒評価の効率的な実施と活用	生徒による授業評価アンケートを実施し授業改善に役立たせる。			
4	教員の資質向上やキャリア教育の充実に向け、教員研修や生徒のインターンシップやデュアルシステムへの取り組みを継続する必要がある。	県教委や職業能力開発協会と連携しながら、教員の企業研修や生徒のインターンシップ等を充実させているか。	インターンシップやキャリア教育の充実	生徒、企業、保護者との連携を深めながら、計画的に行う。	B	○効率的、効果的に地域企業との連携を行う。 →平成24年度から、わかやま産業を支える人づくりプロジェクトが実施される予定となっている。このプロジェクトを通じて企業との校友会ネットワーク企業との連携を深めていきたい。	
			物作りを中心とした教員研修の充実	夏期研修等を利用した技術講習会に参加する。			
			地域産業との更なる連携の向上	就職等、関連した企業訪問による連携の強化。			

学校関係者評価
平成24年2月29日 実施
学校関係者からの意見・要望・評価等
○素直に教えられた事だけ実行する人間ではなく、工業人として常に研究心を持って自分に厳しく、他人には思いやりのある優しい生徒を育ててほしい。